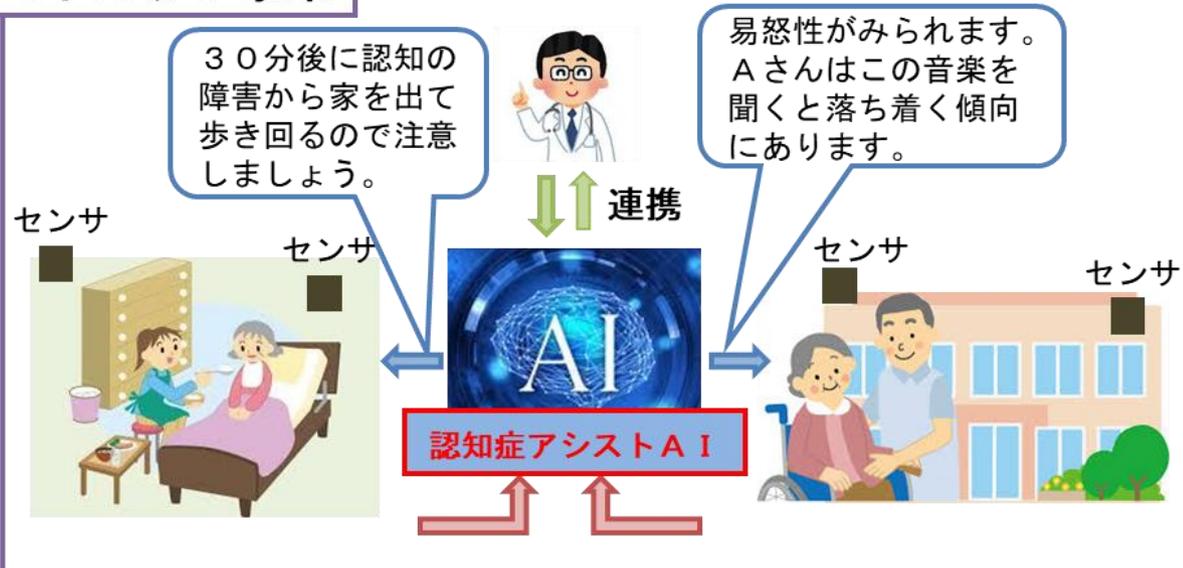


AIとIoTにより認知症高齢者問題を 多面的に解決する東京アプローチの確立

4.9 億円程度
(事業期間3年間)

認知症高齢者、家族、介護者を支援する社会システムを構築する。AIが家庭・介護施設・病院でのリアルタイムかつミクロな生体・行動データから暴言、暴力、徘徊などの予測・対処・治療法を発見し、24時間、本人、家族、介護者を助ける。

パイロット事業



東京都全体に拡大



事業内容の詳細

○認知症高齢者支援AI/IoTシステムのパイロット事業実施

- ・ AI と IoT を用いて認知症の発生・進行プロセス、認知機能障害、BPSD防止支援策を導き、本人、家族、介護者の支援を行う。都内の家庭・介護施設・病院を対象に一定規模（対象高齢者約1000人）のパイロット事業を実施し評価する。

○都全域で実施する「認知症高齢対策東京アプローチ」の提言

- ・ 都全域で実施するためのシステム設計（例：家庭配布用の簡易IoTデバイス）、制度設計（例：介護保険を用いた機器の貸し出し・補助）を行い「認知症高齢者対策東京アプローチ」として提言し、今後の東京都の行政指針となることを目指す。

事業実施による効果

- AI と IoT により認知症高齢者の新たな対処方法が発見され続けるため、認知症高齢者のQOL向上、家族・介護者の負担軽減が常に強化される。